



ちばりは ニュース

2026年 夏季発行 第65号

〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

千葉県千葉リハビリテーションセンター理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

基本方針



日本医療機能評価機構
認定第 JC1700 号 - R



日本医療機能評価機構
認定第 JC1700 号

ホームページ



chiba-reha.jp

X



CHIBAREHA

Instagram



CHIBAREHA

○利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
○日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを提供します。
○県立の総合リハビリテーションセンターとして、地域の関係機関との連携により、千葉県全体の地域リハビリテーション支援体制の充実をめざします。

当センター看護師 小田 美代子さんが 春の叙勲を受章されました！

令和8年度「春の叙勲」において、当センター看護師の小田 美代子さんが、長年看護師としてご尽力された功績が認められ、令和8年4月29日、内閣府より「瑞宝単光章」を受章されました。

受章された感想

叙勲の推薦をいただいた時は戸惑いでしたが、千葉リハ看護の功績が認められたもの、皆様の代表として受けさせていただきました。千葉県庁で知事から賞状と勲章を受け、皇居で天皇の拝謁を受けた時に改めて叙勲の重みを改めて感じました。これまで支えて下さった皆様に感謝しております。

千葉リハで仕事をする中で嬉しかったこと

利用者の方々が困難を乗り越えて生活が安定された時や仲間の成長を感じられた時は大変嬉しかったです。最近では、娘も4人の子育てをしながら看護師として働いているため、時々応援に行き、孫たちからパワーをもらえることに喜びを感じています。

これからの目標

私は、本当に利用者の方々や仲間（同僚）に恵まれ、看護師人生40数年が経過しました。障害支援区分認定審査部会の委員および障害者施設の第三者委員としての活動を継続しながら、千葉リハ卒業まで、もうしばらくお世話になりたいと考えております。



小田 美代子さん
(受章者式典会場にて)



中学校の交流授業に参加しました！



地域新聞社が発行する職業紹介冊子『10 年先のジョブノート』（中学生版）および『わくわくお仕事しらべ隊』（小学生版）に、当センターは6年前から掲載していただいています。

これらの冊子では、地域の企業で実際に働く方々へのインタビューを通して、それぞれの仕事地域で果たす役割や仕事のやりがいを、子どもたちにも分かりやすく紹介しています。子どもたちが早い段階から地元の産業や企業への関心を高め、地域とつながるきっかけとなることを目的に発行されています。

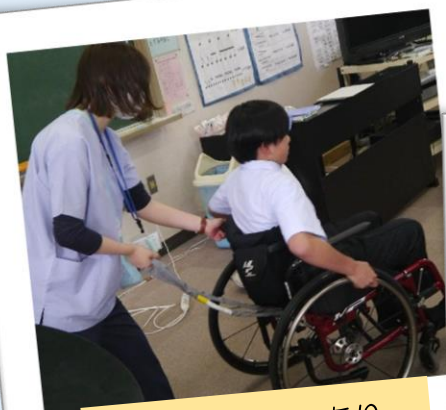
また、毎年多くの小・中学校からご依頼をいただき、交流授業にも参加しています。今回は、そのうちの1校で実施した交流授業の様子をご紹介します。

PT、OT、看護師が参加しました

令和8年6月23日、千葉市立菅田中学校で開催された交流授業に参加しました。

当日は、当センターの概要紹介をはじめ、リハビリテーションに関わるさまざまな職種の仕事内容や、職員の1日のスケジュールについてお話ししました。その後、生徒の皆さんにはグループに分かれていただき、さまざまな体験プログラムに参加していただきました。

授業では多くの質問が寄せられ、生徒の皆さんの仕事や医療・福祉分野への関心の高さがうかがえました。また、参加後の感想では、「仕事のやりがいや大変さがよく分かった」「将来について考える参考になった」といった声をいただきました。



車椅子体験を行ったり…



利き手とは逆の手を使う体験



聴診器で心臓の音を聴いたり…



NEWS

研究成果が国際誌に掲載されました！



このたび、成人療法室第2作業療法科長の神保和正科長の研究成果が、国際誌『Spinal Cord』に掲載されました。

国際誌とは、世界中の研究者や医療・福祉専門職に向けて発行される学術雑誌です。今回掲載された『Spinal Cord』は、国際脊髄学会（ISCoS）の機関誌であり、脊髄損傷や脊髄疾患に関する研究を専門的に扱う権威ある学術誌として広く知られています。

今回の掲載は、神保科長が取り組んできた研究成果が高く評価され、国内のみならず国際的にも発信される貴重な機会となりました。

今回掲載された研究内容について



神保 和正 科長

本研究では、頸髄損傷によって低下した手や腕の機能を評価する国際的な検査「Capabilities of Upper Extremity Test (CUE-T)」を用いて、退院時の日常生活の自立度を予測できるかを検証しました。その結果、受傷後3か月以内のCUE-Tの点数から、退院時に食事や着替えなどの日常生活動作が自立できる可能性を判断する目安となる値を示すことができました。

CUE-Tは約6年前に当センターが中心となって日本語版を作成し、これまで研究やリハビリテーションの現場で活用してきました。今回の成果により、CUE-Tが機能を評価するだけでなく、将来の生活を見通し、リハビリテーションの目標を考えるためにも役立つことが期待されます。今後、より多くの医療現場で活用され、頸髄損傷の方へのより良いリハビリテーションにつながることを目指しています。

掲載された感想



国際誌「Spinal Cord」は、世界中の脊髄損傷に携わる臨床家や研究者が読む専門誌であり、私たちの取り組みをこのような形で発信できたことを大変嬉しく思います。本研究は、多くの患者様にご協力いただき、同僚や上司をはじめ、多くの方々のご理解と支えがあって実現したものであり、心より感謝申し上げます。現在、当センターは上肢機能に加え、体幹機能や車椅子駆動など、脊髄損傷者の評価法の開発・普及にも積極的に取り組んでいます。今後も脊髄損傷チーム一丸となり、この分野の発展とより良いリハビリテーションの実現に貢献してまいります。

研修会のお知らせ

みなさまのご参加お待ちしております

千葉県こどものリハビリ多職種勉強会

第7回
千葉県こどものリハビリ 多職種勉強会

テーマ 知ろう、楽しもう、繋がろう！ パラスポーツ

日時 9月26日(土) 13時～16時

場所 千葉県千葉リハビリテーションセンター

定員 60名(先着)

参加費 1000円

対象者 障がいのあるお子さんとご家族、
子どものリハビリに関わる医療従事者、
学校の先生、福祉職など

第1部 講演
“できる”を広げるパラスポーツ ～ポッチャが生まれる参加とつながり～
日本ポッチャ協会強化スタッフコンディショニングコーチ(理学療法士) 井上 伸氏

第2部 メダリストと一緒にポッチャを体験してみよう！
ポッチャ競技 リオ・東京・パリパラリンピック メダリスト 廣瀬 隆喜選手

第3部 シンポジウム
○千葉県スポーツ協会パラスポーツコーディネーター(ちびパラスポーツコンシェルジュ) 平尾 昌幸氏
○東京女子医科大学小児医療センター 小児科医師 千葉市こどもリハビリテーションセンター 小児科医師
身体障がい者競技チーム 千葉ドリームスター 所属 佐野 賢太郎氏
○千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 菊池 佑輔氏

お問い合わせ先
千葉県千葉リハビリテーションセンター総合療育センター(担当：佐藤) kenshu-sopochiba-reha.jp

お申込みは
こちらから



小児リハビリテーション症例検討会

第2回 小児リハビリテーション症例検討会

主催：千葉県千葉リハビリテーションセンター



開催 日：2026年10月30日(金) 18:30～19:30

開催方法：オンライン (OneStream)

内容 容：事例紹介、グループワーク

検討したい症例を募集します。今回の対象は「重症心身障害児者の
呼吸」での検討とさせていただきます。
参加申込時に「検討したい事例がある」旨、お知らせください。

参加申込：以下のURLもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/fnNLR8BCy5FgBA8>

お問い合わせ：千葉県千葉リハビリテーションセンター 担当：安森 TEL：043-291-1831

令和8年度 成人期施設職員研修会のお知らせ

日時 令和8年10月31日(土)
午前9時30分～午後3時55分
(受付：9時00分～9時30分)

開催場所 千葉県千葉リハビリテーションセンター 研修室等

参加費 2,000円 申込締切 令和8年10月16日(金)

※本研修会は日本作業療法士協会の生涯教育基礎ポイント(1ポイント)の対象となります

テーマ「成人期も楽しく快適な生活を」

講演
①重症障害のある成人期利用者の体験管理、
注意すべき時間について 小児神経科医師
②楽しく、快適に過ごすために
手帳やデジタル健康情報について 看護師
③コミュニケーションの考え方やワークポイント 言語聴覚士
④精神的苦痛に寄り添うために知っておきたいこと 心理師

実技デモンストレーション
①体験してみよう！麻痺のある体と介助法 理学療法士
②摂食介助のポイント 作業療法士
③成人期の自立活動～筆記子ダンス実践～ 福祉職

受講申し込み

以下から申し込みください



<https://forms.gle/N8AKkxU7bcQuRmncU8>

お問い合わせ先
千葉県千葉リハビリテーションセンター 担当：リハビリテーションの部 安森太一
メール kenshu-rehab@chiba-reha.jp 電話 043(291)1831 (内線852)

成人期施設職員研修会



お申込みは
こちらから



お申込みは
こちらから



センター案内図

お車のご利用の場合

- 千葉県東金道路 大宮インターから約10分
- 京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用の場合

- JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2
「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
(専用のバス停はございません)
センター発・・・センター正面玄関前
- 車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス(白色)・・・2名
マイクロバス(水色)・・・3名
- 日曜・休日は運休となります。
※また、土曜は第2・4週目が運休となります
- 道路混雑等により遅延する場合があります。

